

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」山形錦町校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		支援中体を動かすときに座って学習している利用者様の邪魔になってしまうことがある。 →環境面で配慮が必要な生徒かどうか検討し、特性に合わせて対応する。必要に応じて相談室を活用していく。 フィードバック時、部屋が密になってしまうことがある。 →換気をする。空いている席を使って距離をとることや、玄関が密にならないよう、臨機応変に対応する。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		玄関に段差がある為、車いすの入室は配慮が必要。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・様々な研修の機会がある。 ・他校舎と療育相談、教材紹介の機会を設けている。 ・研修で学んだことを実際の支援に活かしている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・担当の指導員同士で話し合いを行い、より良いプログラムになるよう検討している。 ・小集団活動の話し合いを担当する職員で定期的に行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・担当の指導員同士で話し合いを行い、固定化しないようにしている。

					・複数の職員が担当するため様々なアプローチからの支援が可能となった。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・長期休暇では休暇用のワークに取り組むなど、ニーズに合わせた支援を行っている。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか			○		
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	・支援が続いているとその日のうちに共有できないことがある。 ・支援開始前に実施。または次担当する職員へ都度報告している。	
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			前回モニタリング時から現在までの情報や支援時の様子を担当指導員から聞き取り作成している。	
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか			○		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・年間予定表をファイリングし把握できている。 ・学校との情報共有や、利用者の様子・状況・保護者様のニーズに合わせ担当者会議を開催し、情報共有を行っている。	
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				○	医療ケア児の受け入れなし。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				・書面等、様々な方法で行っている。 ・支援に切れ目のないように引継ぎや情報共有を行っている。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか				○	子どもの様子を書面等で共有することはあるが、研修の機会は少ない。 →他の社会資源に目を向け、積極的に外部研修や、助言を頂く機会を活用する。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				○	
㉗ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか				○		

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			フィードバック時の時間を設け、情報共有を行っている。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		フィードバック時や事業所内相談にペアレントトレーニングとなるような親子間の関わりの提案、助言を行っている。
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・適宜、事業所内相談を行い、不安感の軽減に努めている。 ・フィードバック時に家庭の様子についてお聞きしたり、事業所内相談を行い、助言や支援に応じている。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			内部研修が行われている。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	㉗	個人情報に十分注意しているか	○			
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	
非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	職員間で共有しているが、保護者への周知はしていない。 →ファイリングして置いてはいるが、保護者様の目に入りにくい。掲示方法を検討し、どの利用者様にも見て頂けるようにする。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			内部研修が行われている。
	㉝	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	㉞	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	
	㉟	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」山形錦町校

保護者等数（児童数）： 54 回収数： 51 割合： 94 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	46	8	1	勉強の場と遊びの場のスペースが近いので、もう少し広いと良いのではないかと思う。 →建物の構造上、申し訳ございません。教室内の配置を検討し、安全に活動出来るよう努めてまいります。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	50	1	0	指導員が固定ではない為、こだわりの強いお子さんは難しいと思う。 →申し訳ございません。生徒さんの特性に合わせて担当職員や担当制について検討して参りたいと思います。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	33	17	1	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	50	1	0	
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	50	1	0	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	30	13	他施設との交流は一度もなく分からない。 →より地域に開けた事業所となる為、今後交流の機会を設けることが出来るよう検討して参りたいと思います。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	51	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	50	1	0	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	48	3	0	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	28	16	今は特にコロナ禍でもある為、保護者会などの開催があったとしても参加は考えていません。 →コロナの状況を見て、必要性に応じて開催出来るよう検討して参ります。

	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	42	9	0	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	51	0	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	49	2	0	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	51	0	0	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	44	7	0	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	37	13	1	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	51	0	0	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	50	1	0	<p>・高学年になるほど下校時間が遅くなるので平日の利用が難しくなっている。 →大変申し訳ございません。他利用者様との状況や他の社会資源にも目を向けながら検討して参りたいと思います。</p> <p>・支援時間内は子どもの様子を配慮しながらの支援をして頂きありがとうございます。その後のお楽しみとして、子どもの意見を尊重し、ご様子毎に楽しんで頂いております。</p> <p>・不規則の利用ですが受け入れてくださりありがとうございます。</p> <p>→あたたかいお言葉ありがとうございます。今後もよろしくお願い致します。</p>

i: 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。